

北九州市及び札幌市のスタートアップ支援の取組について

1 スタートアップ支援の意義と戦略

- ・スタートアップは、独自の技術や斬新なビジネスアイデアを有し、社会課題の解決やイノベーションの担い手として期待されており、スタートアップの成長により、多くの雇用や設備投資、付加価値創出など、経済成長のエンジン役としても期待されている。
- ・北九州市では、「新ビジョン」や「産業振興未来戦略」において、スタートアップの創出や成長は、「稼げるまち」の実現に向けた重要な柱の一つとして位置付けている。

2 「第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市」への選定

(1) 拠点都市形成計画における目指す姿

○北九州市（市単独で選定）

グリーン・ものづくり・ソーシャルAIを中心に、スタートアップが生み出すイノベーションで、世界を先導し成長を続けるサステナブルシティ。

○札幌市（北海道及び道内自治体とともに選定）

北海道の179市町村の広域ネットワークを基礎に、北海道の産業の強みを活かしたスタートアップが継続的に生み出され、グローバルまで発展していくスタートアップ・エコシステム構築。

(2) 重点分野

○北九州市：「グリーン」、「ものづくり」、「ソーシャルAI」

I. 全体ビジョン

(1) - 2 5年後の目指す姿・KPI

中核都市型

グリーン分野をはじめ、ものづくり・ソーシャルAI分野のスタートアップが生み出すイノベーションで、世界を先導し成長を続けるサステナブルシティ



高度経済成長期に発生した公害を克服し、環境都市へ生まれ変わった技術・ノウハウを生かし、サーキュラーエコノミーや再生可能エネルギー分野を中心に、グリーンテックスタートアップによるイノベーションの創出を目指す。



1901年の官営八幡製鉄所の操業開始以降、培ってきた“ものづくりのまち”としての産業基盤を生かし、ロボット、半導体、宇宙分野をはじめとするディープテックスタートアップの集積と、スタートアップと市内ものづくり企業との協業による競争力強化を目指す。



他の大都市に先行して直面している少子高齢化等の社会課題を、AIや量子コンピューティングの活用により解決する。
また、地元へ愛着を持つアトギスタートアップによる課題解決を支援し、「課題解決先進都市」の実現を目指す。

KPI グリーン分野のユニコーン（上場・未上場含む）で、令和9年度末
海外展開した北九州市発スタートアップの社数（中間）

1社

令和11年度末
（最終）

2社

○札幌市：「宇宙」、「一次産業・食」、「環境・エネルギー」

I. 全体ビジョン

産業の強みについて	北海道のポテンシャル	象徴的なスタートアップ
<p>宇宙</p> 	<ul style="list-style-type: none"> アジア初の民間宇宙港「北海道スペースポート」をはじめとした宇宙関連リソースが集積 特にアップストリーム（打ち上げ、輸送）領域のスタートアップがエコシステムを牽引 JAXAが運営する「宇宙戦略基金」に北海道スペースポートが国内のスペースポートとして唯一採択 宇宙関連スタートアップ集積数全国2位（※1） アジア太平洋地域最大級の宇宙ビジネスカンファレンス「SPACETIDE」と連携した宇宙領域特化のスタートアップ支援プログラムを国内で唯一展開 	 (インターネットイニシアティブ株式会社)  (株式会社 MJOLNIR SPACEWORKS)  (株式会社 宇宙科学)  (Letara株式会社)
<p>一次産業・食</p> 	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業の展開に適した農業モデルの浸透（国内トップクラスの大規模経営化、スマート農業普及率全国1位（※2）） スマート農業共同体「SAo」と連携した実証地、生産者との強力なネットワーク JAグループと連携した一次産業・食領域特化のアクセラレータープログラムの展開 	 (株式会社ファームノート)  (NoMy Japan株式会社)  (エジウィン株式会社)  (株式会社 Amaterz)  (Fio Team株式会社)
<p>環境・エネルギー</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 全国随一の再生可能エネルギー導入のポテンシャルの高さ、道内におけるAIデータセンター、半導体関連産業等の集積 GX金融・資産運用特区の枠組み等を通じたGX産業の集積と金融機能の強化集積に向けた全国トップレベルの脱炭素インセンティブ AI北海道会議設置による規制緩和の提案 	 (OOKUMA DIAMOND DEVICE株式会社)  (株式会社 Komham)  (株式会社 メカノクロス)

産業の強みやAI・半導体関連産業の集積など、北海道のポテンシャルを最大限生かすため、特に成長が期待できる領域に特化したスタートアップ成長支援プログラムの充実や先端技術を活用したスタートアップへの重点的支援などに取り組んでいく。

(2) 世界に発信できるセールスポイント（イチ押しポイント）

日本における唯一無二のテストフィールドを軸に、GX・AIで世界から人材・投資を呼び込む「札幌・北海道へ」

3 具体的な支援プログラムの内容

○北九州市

北九州市のスタートアップ支援のプレイヤー

<p>コミュニティ拠点・創業支援</p> <p>COMPASS COMPASS+</p> <p>共同事業体：資結、ATOMica、GMOクリエイターズネットワーク、まちはチームだ</p> <p>・創業支援中核施設 ・独自のアクセラレータープログラム ・事務局長兼スタートアップ支援責任者 福岡広兵</p> <p>KIC GYMLABO ATOAica BIZIA KOKURA</p> <p>民間主体の特定創業支援事業 相談対応、セミナー、登録免許特約軽減、買付利率引き下げ</p>	<p>北九州市</p> <p>北九州市スタートアップ推進課</p> <p>スタートアップ支援事業</p> <p>地域活性化推進員</p> <p>民間専門人材の活用</p> <p>Deliate</p> <p>有限責任監査法人 トーマツ 相川圭典</p> <p>ネットワーキング</p> <p>WORK AND ROLE</p> <p>北九州市のスタートアップ関係者が一堂に会する交流イベント</p> <p>定期交流会 毎月開催</p>	<p>産学官金による支援プラットフォーム</p> <p>北九州市スタートアップエコシステムコンソーシアム</p> <p>民間 48団体</p> <p>安川電機、TOTO、第一交通産業、ゼンリン、タカギ、北九州商工会議所、YE DIGITAL、日本アイ・ビー・エムデジタルサービス、証券会社、地元金融機関、メガバンク、ベンチャーキャピタル</p> <p>行政 7団体</p> <p>北九州産業学術推進機構、JETRO北九州、九州経済産業局、福岡県、北九州市 など</p> <p>大学・高専 10団体</p> <p>九州工業大学、北九州市立大学、北九州工業高等専門学校、早稲田大学大学院 など</p> <p>土業相談</p> <p>FIECC 北九州市雇用労働相談センター</p> <p>(人事・労務相談)</p> <p>相談員(弁護士・社会保険労務士) ・至誠法律事務所 代表 青田康秀 (弁護士・弁理士)</p> <p>開業ワンストップセンター (開業手続支援)</p> <p>海外展開支援・海外スタートアップ誘致</p> <p>JETRO Japan Entry to KKI</p> <p>北九州貿易・投資支援センター</p> <p>北九州貿易・投資支援センター</p> <p>拠点都市海外連携機能強化プログラム</p> <p>・海外スタートアップ誘致 ・スタートアップビザ 海外展開支援</p>	<p>オープンイノベーション</p> <p>One Kitakyushu 地元企業の新規事業開発担当者と構成するグループ</p> <p>コミュニケーション・系川朝己 (北九州産業学術推進機構 047-81-DX推進センター・マネージャー)</p> <p>資金調達</p> <p>北九州産業ベンチャーキャピタル</p> <p>日本ベンチャーキャピタル シニアパートナー 照沼大 (北九州産業経済局顧問)</p> <p>みらい創造インベストメンツ 代表取締役社長 岡田祐之</p> <p>知の集積(大学・研究機関)</p> <p>KSPP 北九州学術研究都市</p> <p>九州工業大学・早稲田大学・福岡大学の大学院、北九州市立大学・大学院、研究機関、企業、スタートアップ</p> <p>アカデミア(PARKS)</p> <p>九州・沖縄・山口国域20大学が連携した大学発スタートアップ</p> <p>北九州市立大学 創出、アントレプレナーシップ教育</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

都市(拠点)間連携: 福岡市、富谷市、つくば市、千葉市、浜松市、北九州市、別府市、熊本県、鹿児島市、品川区

海外エコシステム連携: 台湾、シンガポール、ウェールズなど

大学間連携: 九州・沖縄・山口国域20大学

北九州市のスタートアップ支援 全体像



方向性	大学発など市内スタートアップの創出、誘致の強化	スタートアップの成長	スタートアップによる課題解決・オープンイノベーション
	COMPASS小倉 アクセラレーションプログラム 事業計画作成・資金調達・販路開拓支援 BizDev人材育成プログラム アントレプレナーシップ教育 小中学生向け起業体験プログラム	企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業 市内スタートアップ成長支援プログラム 市内スタートアップに特化した資金支援・伴走支援 ・研究開発・実証枠 300万円×2年 ・事業展開枠 800万円×2年	イノベーション支援プログラム 市内・市外スタートアップによる課題解決・市内企業とのオープンイノベーションへ資金支援・伴走支援 ・行政課題解決枠 400万円×2年 ・市内企業協業枠 300万円×2年
	PARKS 九州工業大学、北九州市立大学など九州の20大学による ・大学発スタートアップの創出 ・アントレプレナーシップ教育 ・プレCxO人材確保	北九州イノベーションゲート 北九州市の行政・地域・企業が抱える課題とスタートアップをマッチング スタートアップ成長支援ファンド事業 北九州市がファンドへの出資を促してスタートアップの資金調達を支援	認定ベンチャーキャピタル 北九州市が認定したVC（35社）からの資金調達を支援
	産学官が連携したスタートアップ支援 産学官金（65団体）によるスタートアップ支援	スタートアップ成長支援ファンド 北九州市発VCがファンドを組成 シェアリングファクトリー 試作品製作拠点を、民間と連携して整備	スタートアップ公共調達フルコミット事業 事業担当局による公共調達において、随意契約を可能とし費用を支援 トライアル発注（政策目的地発注） スタートアップ等のプロダクト・サービスを随意契約で公共調達に接続 地域活性化起業人 民間人材がオープンイノベーションを支援
推進体制・環境	スタートアップエコシステム推進拠点活用 ・全国13エリアのうちの一つに選定 ・国による支援	スタートアップ都市推進協議会 海外展開 ・10自治体が加盟 ・首都圏マッチングイベントの開催 ・JETROと連携した海外派遣プログラム ・海外大規模イベントへの参加	産学官連携環境整備 デモデイ・交流会を兼ねた大規模イベント 国家戦略特区 規制緩和によるビジネス環境の整備 雇用労働相談センター 雇用・労務管理に関する相談対応（弁護士・社労士）

【主な事業】

① 創業支援の中核施設「COMPASS 小倉」

- ・ コワーキングスペース及びスモールオフィス等の設備
- ・ インキュベーションマネージャー（常駐）による伴走支援
- ・ マッチング支援やアクセラレーションプログラムの実施
- ・ 創業時に必要な手続きが一括して行える「開業ワンストップセンター」の併設



② スタートアップの成長支援

○ 「企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業」

- ・ 市内スタートアップの研究開発や実証、事業展開に向けた資金支援・伴走支援を行う「成長支援プログラム」を実施。
- ・ スタートアップによる行政課題の解決や市内企業との協業に対し、資金支援・伴走支援を行う「イノベーション支援プログラム」を実施。

○「北九州イノベーションゲートの運営」

- ・市民・企業・行政等が抱える課題をプラットフォーム「北九州イノベーションゲート」に集約化・見える化・共有化し、課題とスタートアップとのマッチングを通じて、オープンイノベーションや公共調達を促進。

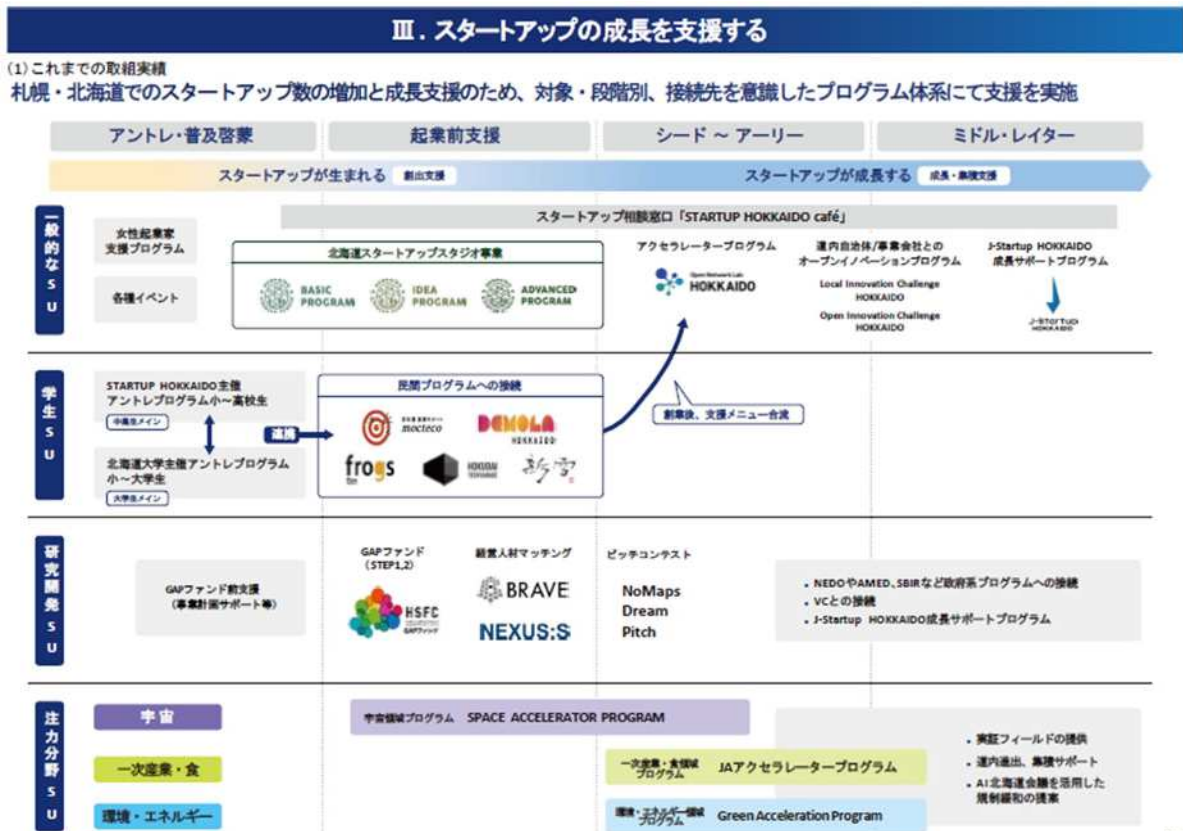
○「スタートアップ成長支援ファンド事業」

- ・北九州市が公募・選定したファンドへの出資を通じて市内スタートアップの資金調達を支援するとともに、ファンドを運営するベンチャーキャピタルと連携したハンズオン支援を実施。

○「スタートアップ公共調達フルコミット事業」

- ・高度かつ独自の技術を有するスタートアップとの随意契約を可能とし事業費を確保することで、公共調達を一気通貫で支援し、行政課題の解決やスタートアップの成長を促進。

○札幌市



【主な事業】

① インキュベーション施設「SAPPORO BUSINESS VILLAGE」

- ・(一財)さっぽろ産業振興財団が指定管理者となり施設を運営
- ・オフィス、商談室等の設備
- ・起業前後の方々に対して専門家による相談対応



② スタートアップの成長支援

○STARTUP HOKKAIDO

- ・2019年より「STARTUP CITY SAPPORO」プロジェクトを始動させ、スタートアップ企業の支援を行ってきたが、取組をさらに加速させるため、2023年に「STARTUP HOKKAIDO 実行委員会」を設立。
- ・札幌市、北海道、北海道経済産業局が一体となり、スタートアップが生まれ育つ環境（スタートアップ・エコシステム）の構築を目指し支援を展開。

○産業特化型アクセラレータープログラム

- ・北海道の産業の強みを活かす「一次産業・食」、「宇宙」、「環境・エネルギー」分野において、民間企業と連携した伴走支援を実施。

○Local Innovation Challenge HOKKAIDO

- ・広大な北海道を舞台に、自治体・事業者とスタートアップの協働により地域課題の解決を目指すオープンイノベーションプロジェクトを実施。

4 第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市形成計画における
KPI（令和7年度～11年度）

○北九州市

KPI	令和9年度末目標	令和11年度末目標
グリーン分野のユニコーンで海外展開した北九州市発スタートアップの社数	1社	2社
海外展開を支援したスタートアップの社数	15社	25社
招聘した海外スタートアップ等の社数	30社	50社
北九州市による公共調達件数	10件	15件
学発スタートアップの創出数	36社	60社
企業等とスタートアップの協業件数	10件	15件

○札幌市（（北海道及び道内自治体含む））

KPI	令和9年度末目標	令和11年度末目標
スタートアップ数(累計)	225社	300社
資金調達件数／ 資金調達額(累計)	135件／ 625億円	250件／ 1,000億円
イノベーション創出数(単年)	290件	500件
グローバル規模でビジネスを行うスタートアップの割合(単年)	35%	50%
スタートアップとマッチングした自治体数(累計)	115自治体	179自治体
スタートアップからの公共調達件数(累計)	7件	15件
ロールモデルと会う人数(単年)	12,500名	15,000名
国内外の連携施設拠点数(累計)	30施設	50施設

【参考】北九州市の主なスタートアップ

(1) 寶結株【成長ステージ：IPO達成】

代表者 代表取締役社長 福岡 広大
本社 小倉北区
創業 平成26年12月
事業 ・業務運営代行サービス事業
・DX推進支援事業



TOPICS

- ・COMPASS小倉を運営する指定管理者の代表企業
- ・令和8年4月 市内発スタートアップとしては初となる東京証券取引所への上場達成



(2) 株TriOrb【成長ステージ：アーリー】

代表者 代表取締役CEO 石田 秀一
本社 小倉北区
創業 令和5年2月
事業 3つの球と3つのモーターで全方向に自由に移動できるプラットフォームの開発・販売



TOPICS

- ・総務省・情報通信研究機構（NICT）の令和6年度起業家万博で、総務大臣賞（最優秀賞）を受賞
- ・令和8年1月 米国デトロイトに現地法人を設立
- ・令和8年6月 28.8億円の資金調達
(累計資金調達額は42.3億円)



TriOrb BASE

(3) KiQ Robotics(株)【成長ステージ：アーリー】

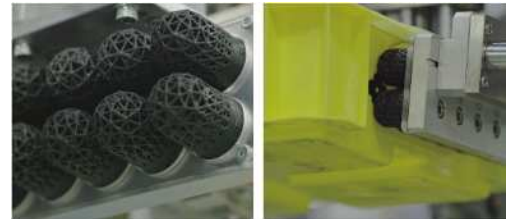
代表者 代表取締役 滝本 隆

本社 小倉北区

創業 平成31年4月

事業 ・産業用ロボットシステムの研究開発
・高い耐久性と柔軟性を両立する

ロボットハンドツール
「ラティス構造柔軟指」
の開発・販売



TOPICS

- ・九州工業大学発、北九州工業高等専門学校発スタートアップ
- ・通い箱の荷積み・荷下ろしを自動化するロボットでの活用に向けて、トヨタ自動車で柔軟指の評価をスタート
- ・第10回ものづくり日本大賞九州経済産業局長賞受賞

(4) Kick Space Technologies(株) 【成長ステージ：シード】

代表者 代表取締役 佐藤 凜

本社 戸畑区

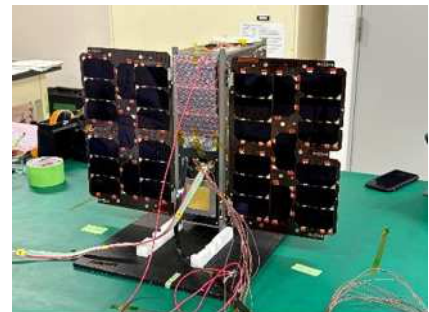
創業 令和7年7月

事業 超小型人工衛星を活用した軌道上実証サービス



TOPICS

- ・九州工業大学発スタートアップ
- ・総務省・情報通信研究機構（NICT）の令和6年度起業家甲子園において、総務大臣賞（最優秀賞）を受賞



開発中の超小型天文衛星
「VERTECS」のフライトモデル